



伝統から創造へ

飯野川第一小学校

第2回目は、地域の伝統を重んじながらも、新しい活動に取り組んでいる飯野川第一小学校を紹介します。

チャヤチャン・チャヤチャン
ン・ピーヒョロ・ヒョットコロッ

鐘と太鼓、篠笛の打ち鳴らす音が響きわたります。飯野川第一小学校の5、6年生が演奏する「葛西ばやし」です。

飯野川第一小学校は、17世紀半ば宿場町であったこの地の領主、葛西家の館跡に建設され、すでに創立180年を越えました。

飯野川葛西家2代重常は、まちづくりとして「人の心をあさめる」ことに努め、町の道も『人』の字型にしたといわれています。

さらに、商業の発展のために市を開き、祭りには鐘や太鼓を鳴らして盛り上げたといわれています。このおはやしが地域の方々



入学式で演奏される葛西ばやし

により復活され、本校に継承されて学校行事や地域行事の中で披露されています。

また、3年前からYOSAKOIソーランにも取り組み始めました。踊りを盛り上げるための長ばんてんは、地域の方々から子ども達のために、材料の提供や縫製にあたりてくれました。

演技が終了したとき、子ども達が「ありがとうございました！」と叫ぶのは、活動を支えてくれる地域の方への感謝の気持ちをいつまでも受け継ぎ、忘れないためです。

学習はもちろんですが、仲間うちにも積極的に取り組み、運動会、かしわ祭(収穫感謝祭)などでは縦割りによる活動を行い、互いに思いやる心、感謝の心をもった子ども達を育てています。

全校の水稲栽培活動では、種もみまきから収穫まで、地域の方の指導・協力のもとに勤労の尊さと収穫の喜びなど、体験をとおして学んでいます。

『心豊かに』を目指して、地域と共に歩み、地域に根ざした学校、子ども達です。



華麗に豪快に舞うYOSAKOIソーラン

長寿のひけつ



歩いて、魚と野菜と

甘いものを食べることに

高橋まさよさん(日和が丘) 101歳

今回は、これまでの最高齢101歳の高橋まさよさんを紹介します。

まさよさんは、明治37年生まれで、

誕生日(8月)が来ると満102歳になります。若千耳が遠いので少し歩行が不自由な以外は、とても健康です。

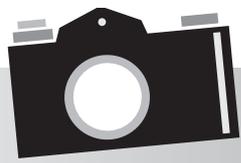
教員や教育長を務めた夫を支えていたほか、89歳まで庭での畑仕事、96歳まで趣味の琴を続けてきました。子どもは7人、14人の孫と多数のひ孫にも恵まれています。一番上の孫は東京で医師をしています。

長寿の秘訣は、歩くこと何でも食べることです。

89歳のときに大腿骨を骨折しましたが、リハビリに励み、また歩けるようになりました。なんでも食べますが、特に、魚・野菜・甘いものは今でも大好きです。

現在の楽しみは、庭での畑仕事を長くしていたので、園芸





カメラトピックス

雄勝



これ、「あさり」かな?▶

● おがつの「あさり」おいしいよ

4月29日(土)・30日(日)の両日、雄勝地区で「あさりかき」が行われました。好天に恵まれた大原川河口には、くま手やバケツを手にした家族連れなど初日だけで約700人が集い、潮の引いた漁場で楽しみながらも真剣にあさを掘り出していました。

● ゴールデンウィークも大盛況!

河北



5月5日(金)～6日(土)の2日間、道の駅上品の郷で「マグロの解体ショー」が行われました。当日は東京築地市場から取り寄せた50キロのメバチマグロが約20分で解体され、試食即売されました。

河南



● 山車を囲んで「ヤーレ ヤーレ サッサー」

河南鹿島ばやし祭典が4月16日(日)、広瀨地区で開かれ、広瀨小学校の児童らが山車に乗って地区内を練り歩きました。

石巻



● マストへ登ってみました

5月3日(水) サン・ファン館で開催の「木造船体験講座 vol.1 ～船乗りたちの生活体験～」で「マスト登り」に挑戦中です。

みんなの広場